

「個別の指導計画」記入例13

総合支援学校に在籍する、視覚障害のある高等部1年生の記入例です。

高等学校に準ずる教育課程を編成しています。

様式1は、シラバス一覧等から各教科の目標を転記し、自立活動については、年間指導目標を設定しています。

各教科の実態の詳細は、別に作成している生徒実態表を参照するようにしています。

様式2は、シラバス一覧等から指導内容を転記し、自立活動については、指導内容を設定しています。

様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、各教科・領域等の指導において特に配慮する支援を記入しています。

各教科の指導目標、指導内容については、高等学校の各教科と同様としています。

(様式1)

個別の指導計画

県立 総合支援学校

学部・学科 学年・組	高等部・科 1年組	校長氏名印	担任氏名印	期間 平成 年4月～平成 年3月
氏名				

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	学習やコミュニケーション・思考を深める手段を身に付ける。 白杖を使って単独歩行ができる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	音声パソコンを使って情報を収集したり、点字タイプライターを用いて点字を書くことができる。 学校内の位置関係を頭にイメージし、一人で移動するとともに、近所の商店やバス停まで歩いて行くことができる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標																						
教科領域等	<p>個別の教育支援計画を参照 生徒実態表を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼疾患名 ・遠距離視力(右 左 両眼) ・近距離視力(右 左 両眼) ・最大視認力(右 左) ・視機能障害 ・視野の状態 ・視機能障害に関するその他の事項 ・視覚補助具 ・遠用弱視レンズ、近用弱視レンズ ・視覚補助具に関するその他の事項 ・視覚障害の状況に関する特記事項 ・眼疾患以外の疾患 ・身辺自立 ・感覚・認知 ・移動・運動 ・社会性(コミュニケーション等) ・注意事項(服薬など健康面におけるもの)等 <p style="text-align: center;">↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>児童生徒実態票等の他の調査票を作成している場合、これらを踏まえて記入します。 各教科・領域等の指導に当たって、必要がある場合、児童生徒の様子(実態)を追記します。</p> </div> <p style="text-align: center;">→</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>シラバス一覧等より目標を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。</p> </div>	<p>年間指導目標は高等学校1年の教育課程に準ずる。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国語総合</td> <td>国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>現代社会</td> <td>人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。</td> </tr> <tr> <td>数学I</td> <td>方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。</td> </tr> <tr> <td>理科総合A</td> <td>自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。</td> </tr> <tr> <td>体育</td> <td>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</td> </tr> <tr> <td>音楽I</td> <td>音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</td> </tr> <tr> <td>英語I</td> <td>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>家庭総合</td> <td>人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。</td> </tr> <tr> <td>情報A</td> <td>コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>総合学習</td> <td>正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。</td> </tr> </table>	国語総合	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	現代社会	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。	数学I	方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。	理科総合A	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。	体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。	保健	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	音楽I	音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	英語I	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	家庭総合	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。	情報A	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。	総合学習	正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。
	国語総合	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。																						
現代社会	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。																							
数学I	方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。																							
理科総合A	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。																							
体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																							
保健	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。																							
音楽I	音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。																							
英語I	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。																							
家庭総合	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。																							
情報A	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。																							
総合学習	正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。																							
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の移動は単独でできる。 ・白杖操作は一通り学習してきているが、実際に一人で歩いた経験は少ない。 ・自ら積極的に話しかけたり、援助を依頼したりすることは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖歩行の基本技術を習得する。 ・保有感覚を活用して周囲の状況を確認できるようにする。 ・学校から最寄りのバス停までの歩行を確立する。 																						

学部・学科 学年・組	高等部・ 1年組	科	氏名								
---------------	-------------	---	----	--	--	--	--	--	--	--	--

教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教 科 領 域	国語総合	国語総合	伝えあう 漢字に親しむ 古文に親しむ	随筆の楽しみ 読む楽しみ	広がる見方 考えを 物語の世界	自分の考えを書く 物語の世	詩歌との出会い 漢文のとびら	読みを深める らべむ	唐詩のしむ 孔子のこ	論理を育む 譜のしらべ	和歌と俳諧のしらべ 物語へのいざない 未来をひらく
	現代社会	現代社会	現代社会の諸問題を探る	現代の社会生活と青年	現代の経済社会と経済活動のあり方	国際社会の動向と日本のはたすべき役割	現代の民主政治と民主社会の倫理				
	数学I	数学I	整式	実数	不等式	二次方程式	二次関数とグラフ	グラフと方程式・不等式	三角比	三角比と図形	図形の計量
	理科総合A	理科総合A	元素と単体・化合物の構成粒子	原子の構造と物質の構成粒子	化学変化と化学反応	状態変化とエネルギー	酸・塩基の中和反応とエネルギー	酸化還元と物質	日常生活・生物のつくりくる物質	いろいろなエネルギー	資源の関与と利用
体育	体育	<運動> 体づくり運動 器械運動			水泳	陸上競技			球技		
体育	体育	<体育理論> 社会の変化とスポーツ				運動技能の構造と運動の学び方				体ほぐしの意義と体力の高め方	

シラバス一覧等より指導内容を転記します。
あるいは各教科等の短冊を貼付します。

等	英語I	英語I	つづり字と音の関係	異文化交流の紹介	お気に入りの紹介	生きることの意味	平和の大切さ	世界で活躍する日本人	考え方や価値観の違い	科学技術の発達	世界の貨幣と文化・歴史	絵画での表現	宇宙の生命と神秘
	家庭総合	家庭総合	人と食生活	栄養と食品	献立と調理	人と衣生活	被服材料	被服の選択と安全	被服製作	私たちの消費と経済	消費者の権利と責任	消費生活と資源・環境	
	情報A	情報A	コンピュータの基本操作と入力練習	情報社会と情報の活用	問題解決の工夫	情報の伝達	情報の検索と収集	情報の受信と共有	情報ネットワーク利用の心構え				

自立活動	自立活動	白杖歩行の基本技術 ・スライド法、タッチテクニック ・白杖を用いた直線歩行 空間概念の形成 ・東西南北の定位 ・地理的空間定位と心的地図 ・校舎内の教室位置の把握	住宅街の歩行 ・路上の障害物回避 ・歩行中の自転車回避 ・歩行中の自動車音源定位 ・ランドマークの発見 ・交差点の発見 ・交差点の横断 ・直角の方向取り、元ルートへの復帰	準繁華街の歩行 ・信号の利用 ・選択聴音による環境把握 ・目的地の発見 ・コース定位 理解と立案、コース変更 ・逆コースの理解 ・混雑時の歩行
------	------	---	--	--

自立活動以外の教科・領域については、高等学校1年の教育課程に準ずる。

その他の
 <各教科指導上の配慮事項>
 ・事物・事象や動作と言葉を対応させた指導を心がける。
 ・観察、実験、操作活動等、可能な限り直接体験を設定する。
 ・コンピュータ等の情報機器を活用する場合、音声化ソフト（読み上げソフト）を利用する。
 ・視覚的なイメージを伴う言葉については、これまでの経験や知識と関連付けて丁寧に説明する。
 ・触覚教材や音声教材を活用したり、理科や数学等の授業では、模型を用いた観察やモデル実験を行ったりして効果的な学習ができるようにする。

学部・学科 学年・組		高等部・ 1年	科 組	氏名	指導記録						
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等		評価							
				指導の			指導の経過と評価		検討課題 (次学期に向けて)		
				目標	内容	方法					
国語総合	<p>↑</p> シラバス一覧等より学期の指導目標を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。			4	4	4	<p>↑ ↑</p> 各教科・領域担当者がシラバスの評価方法に従って評価します。 特に支援・配慮した事柄があれば、その評価もあわせて記入します。				
現代社会				3	3	3					
数学	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の性質を理解する。 絶対値記号や平方根の意味を理解する。 一次不等式が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の基本問題を繰り返し解かせる。 根号を含む式の計算順序に沿って四則計算を行えばよいことを説明する。 具体的な数値や数直線を使い不等式の性質を考えさせる。 数直線板を利用する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則、乗法公式を使って問題を解くことができた。 簡単な根号を含む式の計算ができた。 不等式の例題の数値変えの問題はよくできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 最低限の公式を覚えるのも大切であることを理解させたい。 不等式の性質については、てんびんを使って理解した後に、負の数で符号が変わることを教える。 				
理科総合A	<ul style="list-style-type: none"> 物質を構成している基本的な粒子の概念を理解する。 物質の変化の種類、変化(量的関係)の表し方やエネルギーの出入りを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物質を一つ選び、それが自然界からどのように得られ、形を変えているのかを検討させる。 中学部で学習したエネルギーの変換について思い出してもらうよう促す。 実験には、感光器や電流感知装置を利用する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物質は、自然界にある物質を変化させて得られていることを指摘できた。 光から電気エネルギーへの変換等、身の回りの例の想起が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の結果を大きさの異なる発泡スチロール球などを使った粒子のモデルで表すことで、イメージしやすくする。 重さや摩擦が熱エネルギーに変換する例を示す。 				
領域等	<ul style="list-style-type: none"> 文字入力及び基本ソフトウェアの操作手順を理解する。 情報通信ネットワークを利用した情報収集の基本的な方法と情報の取舍選択の必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「PCTーカー」やペンディスプレイを使って学習を進める。 電子メールと電話との違いを考えさせることにより、利点と欠点を考えさせる。 情報の信頼性に疑問が生じたときの対応を考えさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 操作に要する時間を徐々に短縮できた。 電子メールの基本的な使い方を理解できた。 複数の情報源を用いて判断することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なキー操作(ショートカットキー)を習得させたい。 積極的に分かりやすい表現を行おうとするには、更なる経験が必要である。 著作権について指導していきたい。 				
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> 方向を維持して、直線歩行ができるようにする。 校舎内の目的教室にいくつかの異なる経路で移動することができる。 心的地図上の位置と地理的定位の特徴を照合する。 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、振り幅、リズムなどに気を付け、繰り返し練習させる。 「正面は北、この隅は？」等空間座標軸に自分軸を位置付けさせる。 適切なランドマーク(手がかかり)を選択して利用する。 学校周辺の道路を実際に歩く活動を設定する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> リズムカルな白杖操作で、直線歩行はスムーズにできるようになった。 校舎内は、いつも同じ経路で移動していることが分かった。 校内の慣れた場所では正しい姿勢で自信をもって歩くことができるが、校外へ出た途端に動きがぎこちなくなってしまう。 回避からの回復行動の習得にやや手間取った。 	<ul style="list-style-type: none"> このまま継続して取り組ませ、自信を付けさせたい。 自分軸で考えることができるので、動きの変化に従って空間定位することが必要である。 方向の起点と目標を意識して、方向と距離を予測するなど、普段から心的地図を描く訓練を積む必要がある。 白杖での確認に加え周囲の音を十分に聞くことで、安全で確実な歩行をめざす。 				